

第 21 回例会

2020.12.16

会員 73 名中 45 名出席 61.64%	国際ロータリー会長	ホルガー・クナーク Holger Knaack
修正 52 人 71.23%	国際ロータリー第2530地区ガバナー	石黒 秀司
メイクアップ 7 名	福島南ロータリークラブ 会長	松崎 弘昭

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先 / クラークリアンテサンパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



12 月も半ばになって紅葉で楽しませてくれた木々の葉もほとんど落ちてしまいました。こんな時期ですが、最近では、季節を問わず野菜や果物がどこでも手に入り、季節感というものも昔ほど無くなり、四季折々の旬を味わうという季節ならではのことも少なくなってきたような気がします。役者の世界では「何とか役者」と言われてのけるにしている野菜がありますが、寒い夜の鍋料理では欠かせないのが体の温まる大根で、特におでんなどで主役になっているのではないのでしょうか。

今月は疾病予防と治療月間ですが、最近では、寒い世相の中、思いつきのまま軽率な行動する若者、いや、若者だけではなく、そういった年寄りまで多くなってきています。反面、真剣に考え過ぎて、自分の生き方に悩みを持ち、どのように生きれば良いのか分からなくなっている、ひきこもりや鬱の人口も多くなっているようでありです。日本では、40~64 歳までの「ひきこもり」が、全国で推計 61 万 3 千人いるとの調査結果が発表され、そのうち 7 割以上が男性で、ひきこもりの期間は 7 年以上というのが半数を占めています。15~39 歳の推計 54 万 1 千人を上回り、ひきこもりの高齢化、長期化が鮮明になっているようです。

一方、うつ病の人は世界で推計 3 億 2,200 万人に上るとの報告書が世界保健機関 (WHO) から公表されました。報告書は、うつに苦しむ人が全世界人口の 4% を超えながら、その多くは正しい診断や適切な治療を受けられていないと指摘し、早急な対策の必要性を訴えています。

日本人の鬱の人口は約 506 万人とされています。年齢別では 55~74 歳の発症率が高く、女性は何の世代でも男性よりも発症率が高いようで、特に 60~64 歳の女性は全人口比で 8% 近くがうつに悩まされているようです。

私自身も弱い人間ですので、何時、このような鬱の状況に陥るかわかりませんが、座右の銘というか、心に留めている言葉があって、その言葉の力が、鬱への心の回路を塞いでくれているような気がしています。

私には、心に留めている好きな言葉が三つあります。一つは、「面白き、ことも無き世を、面白く、すみ成すものは、心なりけり」とい短歌です。二つ目は、「人生は心ひとつの思いよう」という言葉で、三つ目は、「心配するな、なるようになる」という言葉です。言葉の力は大きくて、私は、これらの言葉で大きく人生が変わったと思っていますし、本当に言葉は人の人生を変える力があると実感しています。

さて、今日は、菅野良二会員にスピーチを頂きます。菅野良二さんは、本業以外にも沢山のボランティア事業にも取り組んでいる方もあります。そして、自分が得た利益は、常に社会にお返しをしていくという信念を持った方です。

今日のスピーチでは、ご自身の取り組みの一週を紹介して頂き、会員の皆さんに少しでも良い刺激を与えて頂ければありがたいと思います。そのことに期待して本日の会長挨拶とします。

会員の広場: 松崎会長雑感「必要」必要とされるものは、どんな苦境に遭っても生き残る。必要とされるから誰かが助けてくれるのですね。

次回 12 月 23 日 (水) 第 22 回例会プログラム

◀クリスマス例会 12:00~ 食事です▶

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. ゲストスピーチ (福島愛育園長 長谷川文夫 様)
6. クリスマス余興 (マジック: 黒利紀之会員 / ピアノ演奏: 安斎紀之会員)
7. 幹事報告
8. 閉会点鐘

【 例会 予定 】

12 月 30 日 (水) 休会 (晦日) ~ 本年もありがとうございました ~

1 月 4 日 (月) 市内 7 クラブ合同新年会 及び 福島南 RC 新年会 **-中止-**

1 月 6 日 (水) 休会 (1/4 合同新年例会振替)

【 地区・分区・その他関連行事 】

- 1 月 21 日 (木) 地区後期委員会総会 (ビューホテルアネックス)
- 1 月 30 日 (土) 職業奉仕委員会セミナー (南東北総合卸セカ-協同組合)
- 2 月 12 日 (金) 第 5 回会長・幹事会 (ザ・セレクトン福島)

◆会員スピーチ

菅野 良二 会員



特定非営利活動法人シェア・ラブ・チャリティの会は 1955 年発足しアジアの子供支援を目的としています。途上国の子供たちに少しでも自分たちの愛を分かち合いたいとの思いでシェア・ラブ・チャリティの会と命名いたしました。先進国の子供達が発展途上国の子供たちと愛を分かち合うのが私達の願いです。

全ての子供達が十分な教育を受けられるようになるまで私達の活動は終わりません。

世界中の人々が手を取り合えば戦争と貧困の無い世界を作れると信じています。被災地福島から被災地キナターカンの子供達への贈り物。この法人はアジアの子供、女性、高齢者、障がい者に対して、民族や宗教、政治信条にとらわれないことなく、人間らしく生きていくための様々な支援に関する事業を行い、世界の平和と発展に寄与することを目的としています。貧困、戦争によって多くの子供たちが犠牲になっています。その為には、教育を徹底していかなければならないと思い、今までバザーや、コンサートの益金で 1996 年フィリピン・ルソン島ラグナー州ビニアンに小学校、鉄筋コンクリート造り 2 階建 4 教室を寄贈、1999 年にはベトナム・ハノイ市北西 70K、バービー郡イエンバイ村に小学校、鉄筋コンクリート造平屋建ての、7 教室と、トイレを寄贈、2006 年にはベトナム・イエンバイ小学校の子供たち 8 名、校長先生、ベトナムユネスコの職員 1 名、計 10 名を福島市に招待し初めての雪遊びを体験し福島市の 2 校の小学校の子供たちとの交流を行い、1 週間ホームステイ先で日本の文化を体験していただきました。

2011 年東日本大震災が発生、世界中から多くの義援金、義援物資が送られてきました。そんな中 2013 年 11 月 8 日フィリピン中部に史上最強台風 30 号 (ハイエン) が発生、被災者 1,608 万人、死者、行方不明 8,986 名、学校倒壊 382 校と甚大な被害が起きシェア・ラブ・チャリティの会の代表は 1 ヶ月後の 12 月 13 日被災地レイテ島タクロバンに入り現地の状況を確認、多くの子供たちを支援すべく、国立病院の院長と今後の状況を確認し早急に新生児の酸素吸入機、羊水を吸い取る機械をタクロバンロータリークラブの協力でセブ市から機器を購入し寄贈することが出来ました。翌年 2014 年 2 月緊急義援物資として新品の洋服 1,200 着をタクロバンに贈ることが出来ました。2014 年 2 月にもヨルダンにシリア難民の子供たちに防寒着 1,100 着、在日ヨルダン大使館を通して緊急支援として贈りました。

2014 年 9 月フィリピン・ピニアン小学校、フィリピン大学の学生と福島大学国際奉仕サークル (カラーズ) 15 名の学生とフィリピン大学で交流して (今の福島の現状) と題して英語で発表してまいりました。フィリピンの学生達は原発事故の影響で福島には誰も住んでいないのではないかと質問がありました。2015 年フィリピン台風 30 号被災地セブ島北部のキナターカン島の小学校 3 教室再建し寄贈して参りました。翌日、福島大学の学生にセブロータリークラブの例会で昨年同様 (今の福島の現状) と題して英語で発表することが出来ました。海外の人たちから見た福島は異様に感じたようでした。

2016 年 1 月モンゴルの孤児院、貧困の方々に毛布 400 枚を寄贈することが出来ました。2016 年 9 月シェア・ラブ・チャリティの会代表がウランバートルの孤児院を訪問、義援物資を届けることができました。今後の活動計画書としてフィリピン、ベトナム、モンゴル、インド、等の貧困層の子供たち支援、福島大学の学生と他大学との交流をもち中古の鍵盤ハーモニカを集めアジアこども支援として楽器を通して音楽教育支援をしていきます。今まで鍵盤ハーモニカ送り先はフィリピンに 250 台を寄贈しました。

今、日本の子供 7 人に 1 人が貧困で、食事も満足に取れない子供達がいるとの事で、福島市西部地区に 2019 年 10 月こども食堂を開設し福島市の貧困家庭の子供及び親御さん達、福島市に居住している外国人の子供及び親御さん達に食を通して子供達の居場所を提供し勉強、遊びを通して子供達が互いに学ぶ場所になるように支援していきたく考えております。日本の大学生、高校生に途上国の子供たち支援を教えながら途上国の子供たちに自分たちの愛を分かち合う活動を進めていきます。日本にいる海外留学生、外国人と一緒に活動を進めていきますので御指導宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人シェア・ラブ・チャリティの会 理事長 菅野良二  
 幼少期に見た母の活動(志)を受け継ぎ、そして次の世代にも引き継いで行きたい!

